

予算特別委員会報告

予算特別委員会の報告を行います。

本定例会において付託されました、議案第15号から議案第32号までの令和3年度上野原市一般会計予算、各特別会計予算及び病院事業会計予算、合わせて18件について、3月3日、5日及び8日の3日間にわたり慎重に審査した経過と結果を報告します。

令和3年度の予算は、一般会計、特別会計合わせて、歳入歳出それぞれ、173億942万1千円となり、前年度予算と比べると4億3千467万7千円、率にして2.4%の減少となりました。

一般会計では、歳入歳出それぞれ、101億8千730万7千円、前年度と比べると2億5千701万5千円、率にして2.5%の減少となりました。

歳入では、自主財源が36億1千545万9千円で、歳入全体の35.5%を占めています。

自主財源の主なものとしては、市税が30億8千202万9千円、使用料及び手数料が1億1千735万4千円、諸収入が1億7千878万2千円となり、自主財源全体で、前年度より2億777万5千円の減額となりました。

市税については、新型コロナウイルスの拡大の影響で市民税が前年度と比べ6千97万3千円の減額、固定資産税の現年課税分は償却資産の増加が見込まれるものの、土地・家屋は評価替えの年であるため、前年比1千315万9千円の減額、軽自動車税、市たばこ税、入湯税も減額となり、市税全体で前年度と比べ6千736万円の減額を見込んでいます。

一方、依存財源は、合計65億7千184万8千円で、歳入全体の64.5%を占めています。

依存財源の主なものでは、地方交付税の普通交付税が30億4千655万4千円、市債が7億3千90万円、国庫支出金が9億6千803万8千円、県支出金が6億656万3千円となり、依存財源全体では、前年度と比べ4千924万円、率にして0.7%の減少となりました。

次に、歳出を目的別に見ると、前年度と比べ減額したものとしては、土木費が1億264万5千円、率にして8.7%、消防費が1億2千167万3千円、率にして17.9%の減少となりました。

一方、増額した主なものとしては、農林水産業費が2千354万6千円、率にして12.4%、予備費が2千万円、率にして200%の増となっています。

一般会計歳出の性質別構成比を見ると、人件費、扶助費、公債費の義務的経費が50億5千351万円で、前年度と比べ合計で4千572万円の減額となっています。

また、投資的経費は、全体で7億4千13万7千円で、前年度と比べ1億9千405万8千円の減額となりました。

その他の増額した主なものとしては、投資及び出資金が7千180万5千円の増額、予備費が2千万円の増額となっています。

減少した主なものについては、補助費等が3千229万7千円の減額、操出金が5千万7千円の減額となっています。

令和3年度の一般会計に新規に計上した事業は6件で、骨格予算として編成しているため、前年度の19件から大幅に減少しています。

次に、特別会計については16会計で、歳入歳出それぞれ、71億2千211万4千円で、前年度と比べ1億7千766万2千円、率にして2.4%の減少となっています。

また、病院事業会計の収益的収支では、収入に対する不足額、1億6千967万3千円については、資本金を取り崩し、利益剰余金に振り替え、そのすべてで当年度欠損金を補てんするものです。

3日間にわたる課別審査や総括において、市の財政全般にわたり多くの質疑や提言がありました。

その主なものについては、

- ・予算説明資料に複数の齟齬がみられた。予算審議において、説明資料には正確性が求められるため、資料作成の方法を見直すべきである。
- ・予算で大きく変更があった部分についての説明が無い所があったので、今後は丁寧な説明を心がけられたい。

- ・後期高齢者の医療費のさらなる上昇が懸念されるため、市内医療機関や関連部署で連携し、医療費の抑制に努めるべきである。
- ・新型コロナウイルスによる影響を正確に掌握するのが困難な状況であるが、雇用の状況や生活相談等、各関係機関が連携し、総合的に現状を集約すべきである。
- ・生活福祉資金等、コロナ関連の支援金が必要な方々に、より丁寧に相談窓口の周知をすべきである。
- ・生活困窮者の支援は重要な問題であるため、様々な支援を拡充させる必要がある。
- ・市だけでは対応できない課題については、市長会等を通じて国・県へ要望するなど、あらゆる場面で発信を強化する必要がある。
- ・国土強靱化地域計画と上野原地域防災計画の整合性を図っていく必要がある。

その他、各課全般にわたり多くの意見が出されました。

それらを踏まえ、採決した結果、「議案第15号 令和3年度上野原市一般会計予算」、「議案第16号 令和3年度上野原市国民健康保険特別会計予算」、「議案第17号 令和3年度上野原市後期高齢者医療特別会計予算」、「議案第21号 令和3年度上野原市簡易水道事業特別会計予算」については、異議がありましたので、起立採決を行いました。その結果、賛成多数で原案どおり可決すべきものと決定しました。

その他14議案については、異議はなく全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。

当市においては、少子高齢化や止まらない人口減少が続いています。また、新型コロナウイルスという未曾有の災害が発生し、生活様式を変更せざるを得ない状況が続いています。

市当局におかれましては、今後の新型コロナウイルスに関連した国・県の動向を注視し、市民の安心・安全を最優先する中で、自主財源の確保や経費の合理化・効率化を図り、限られた財源の有効活用と健全な財政運営に努めていく必要があります。

委員会での意見等を市政運営に反映されることを強く要望し、予算特別委員会の報告とします。